



SGホールディングス株式会社

2020年4月30日

2020年3月期連結決算について

SGホールディングス株式会社(本社:京都市南区、代表取締役会長:栗和田榮一)は本日、2020年3月期連結決算を発表しましたので、お知らせいたします。

<2020年3月期連結業績>

当社グループでは、中期経営計画「Second Stage 2021」の初年度として、グループ横断の先進的ロジスティクスプロジェクトチーム「GOAL®(GO Advanced Logistics)」(以下「GOAL®」という)による提案領域の拡大を図ってまいりました。また、同業他社や異業種を含むベンチャー企業等との業務提携のもと、お客様の幅広いニーズに対応するソリューションの提供や事業領域の拡大に努めてまいりました。

当社グループの中核事業であるデリバリー事業においては、あらゆる「運ぶ」で付加価値を提供する「TMS (Transportation Management System)」(以下「TMS」)をはじめとする「GOAL®」による営業の強化や、継続的な適正運賃収受に取り組みました。ロジスティクス事業においては、新規・既存の受託案件増により国内外ともに増収も、拠点見直しによる費用増や感染症の影響等により減益となりました。不動産事業においては、継続的に保有不動産の売却をいたしました。その他の事業は、決済方法の多様化による代引決裁の減少や、消費税率引上げ後の新車・中古車販売の減少により減収減益となりました。

■ 連結業績結果

	2019年3月期 実績	2020年3月期	
		実績	前期比
営業収益	11,180億円	11,734億円	105.0%
営業利益	703億円	754億円	107.2%
経常利益	747億円	805億円	107.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	434億円	472億円	108.8%

＜2021年3月期連結業績予想＞

当社グループにおきましては、社会インフラの一部を担う物流企業グループとして、お客様に最適な物流ソリューションを提供すべく、グループ一体となった付加価値サービスの更なる強化や経営基盤の強化に取り組んでまいります。当社グループの2021年3月期の連結業績見通しは、感染症の拡大により先行きが不透明であるものの、足元の状況を踏まえて営業収益は12,000億円、営業利益は785億円と見込んでおります。

また、当社の持分法適用会社である株式会社日立物流が2021年3月期の連結通期業績見通しを非開示としたため、中期経営計画で見込んでいた数値を参考に作成しております。

■ 連結業績予想

	2020年3月期 実績	2021年3月期	
		予想	前期比
営業収益	11,734億円	12,000億円	102.3%
営業利益	754億円	785億円	104.0%
経常利益	805億円	825億円	102.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	472億円	485億円	102.6%

＜中期経営計画の経営目標＞

2020年3月期の業績をふまえ、中期3か年計画の3年目となる2022年3月期の現状の見通しを以下のとおりとしました。

■ 2022年3月期の見通し

	当初予想 (2019年 4月26日発表)	2022年3月期 予想	差額
営業収益	12,130億円	12,300億円	+170億円
営業利益	740億円	800億円	+60億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	455億円	490億円	+35億円

<配当予想>

2021年3月期の配当予想につきましては、以下の通り予定しております。

■ 2021年3月期配当金予想

	2020年3月期	2021年3月期 予想
	1株当たり配当金	
第2四半期末	22円00銭	22円00銭
期末	22円00銭	23円00銭
合計	44円00銭	45円00銭

SGホールディングスグループは、純粋持株会社SGホールディングス株式会社と、その傘下にある佐川急便株式会社をはじめとした事業会社で構成された総合物流企業グループです。

<報道関係お問い合わせ先>

SGホールディングス(株) 経営企画部 広報ユニット

tel:03-5677-1587 fax:03-5677-1515 mail:sgh_pr@sg-hldgs.co.jp